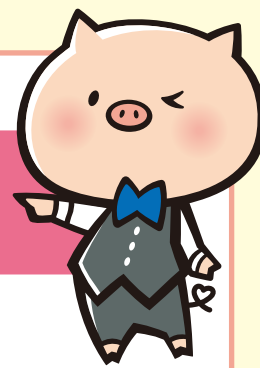


# 愛知商銀のとりくみ



## 社会貢献活動

信用組合の基本理念であります「地域密着型金融」を実践するため、様々な社会貢献活動に取り組んでおります。



地域清掃



献血

## 春日井支店紹介



春日井支店の窓口にて

春日井支店は、平成元年11月に春日井市篠木町に開設し、以来31年に亘り地域の皆さまに親しまれております。名古屋市に隣接し住環境の良い春日井市・尾張旭市では特に住宅ローン等の個人向け融資のニーズが高いほか、不動産事業や飲食事業に関するお取引先が数多くあります。

春日井サポテンイメージキャラクターの「日丸(にちまる)くん」と、当組合のマスコットキャラクターである「トントンくん」のコラボレーション写真です!

## 医療従事者応援定期預金「絆」



愛知県庁にて



愛知県・三重県より感謝状

「医療従事者応援定期預金「絆」」につきまして、皆様から多くのご協力を賜り、当該定期預金の預入総額の0.05%相当額を当組合負担で愛知県・三重県に寄附をいたしました。

## 信用組合 愛知商銀

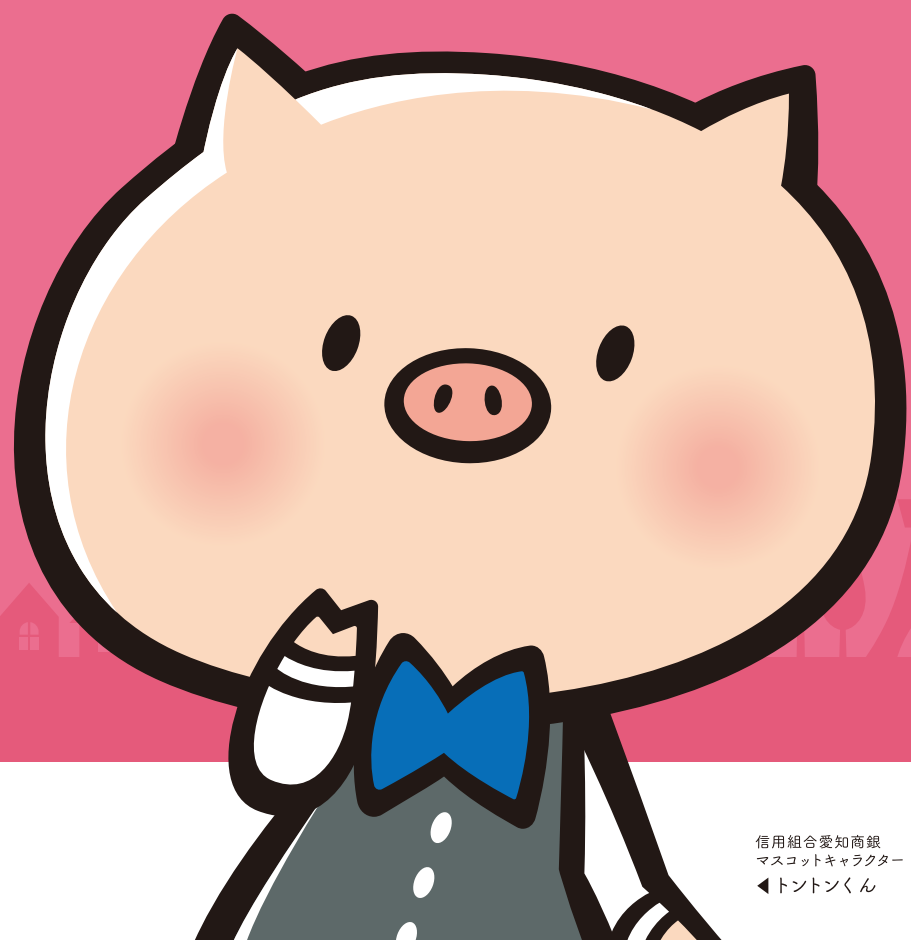


<b>本店営業部</b>	〒453-0013 愛知県名古屋市中村区亀島一丁目6番18号	052-451-5141
<b>岡崎支店</b>	〒444-0913 愛知県岡崎市葵町4番地10	0564-21-5141
<b>一宮支店</b>	〒491-0862 愛知県一宮市緑3丁目11番14号	0586-72-0256
<b>今池支店</b>	〒464-0850 愛知県名古屋千種区今池5丁目15番1号	052-732-5426
<b>豊橋支店</b>	〒440-0882 愛知県豊橋市神明町46番地	0532-53-7336
<b>柴田支店</b>	〒457-0807 愛知県名古屋南区鶴見通5丁目2番9号	052-614-1231
<b>春日井支店</b>	〒486-0851 愛知県春日井市篠木町1丁目23番地	0568-85-3222
<b>津支店</b>	〒514-0035 三重県津市西丸之内11番10号	059-224-1161

ディスクロージャー

# DISCLOSURE 2021

2021.09.30  
Management Information



信用組合 愛知商銀

信用組合愛知商銀  
マスコットキャラクター  
トントンくん

# 愛知商銀について

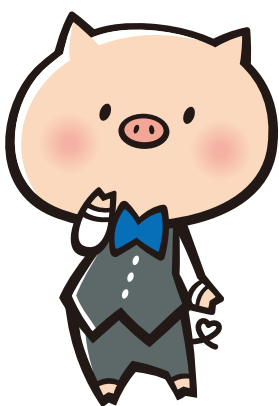


信用組合愛知商銀は、2019年度に「創立65周年」を迎えております。

## 沿革

- 1954年12月 金剛信用組合を設立(名古屋市東区)
- 1955年11月 本店移転(名古屋市中村区椿町2丁目)
- 1958年 9月 信用組合愛知商銀に名称変更
- 1960年 7月 岡崎支店を新設
- 1962年 8月 一宮支店を新設
- 1964年 5月 本店移転(名古屋市中村区則武1丁目)
- 1985年 5月 自営オンラインシステム稼働
- 1989年11月 春日井支店を新設
- 2002年 2月 信用組合三重商銀(四日市支店・津支店)を事業譲受
- 2002年10月 熱田支店を柴田支店へ統合、上飯田支店を今池支店へ統合
- 2004年 1月 瀬戸支店を春日井支店へ統合、豊田支店を岡崎支店へ統合
- 2006年 5月 SKC(信組共同センター)オンラインシステム加盟
- 2006年12月 四日市支店を本店営業部へ統合
- 2019年 5月 本店移転(名古屋市中村区亀島1丁目)

設立 1954年12月27日  
預金額 1,103億6,150万円  
貸出金 774億9,448万円  
出資金 36億3,793万円  
組合員数 17,983人  
従業員数 113人  
店舗数 8店舗



## トントンくん

元々は貯金箱だったが、お金がいっぱいに貯まった時、ブタの妖精に生まれ変わったトントンくん。ベストと蝶ネクタイは「お客様第一」の象徴。

## プロフィール

- 性別 男の子
- 年齢 妖精になってから一歳
- 現れる時 お客様のチャカラになれる時
- 得意なこと 幸せのタネをお客様と一緒に育てること
- チャームポイント ハートのしっぽ

## ごあいさつ

皆様方には、日頃より当組合に格別のご愛顧お引き立てを賜り、心より厚くお礼申し上げます。

本年も、当組合の現況をより深くご理解頂くため、ミニディスクロージャー誌を作成致しましたので、ご高覧賜りたいと存じます。

2021年度上半期は、1年延期となった東京オリンピック・パラリンピックがようやく開催され、日本選手団の史上最多となるメダル獲得で、日本中が大いに沸きあがりました。しかしながらその後、第5波となる新型コロナウイルス感染者の急増により、広範囲にわたる「緊急事態宣言」が発令されることとなりました。現在、国民のワクチン接種率は確実に上昇を続けており、間もなく「経済活動の日常化」と「コロナ感染予防」の両立が実現できるものと期待しております。

上半期における当組合の業績については、主力商品である『シルバー定期預金』と『すまいる定期預金』の堅調な売れ行きにより、預金残高は1,103億円になるとともに、貸出金残高については、コロナ関連の支援融資を積極的に推進したことなどにより774億円となりました。

収益面については、コロナ禍の影響で、対外的業務を積極的かつ開放的に推進することが非常に困難となっていることから、組合内部の業務効率化や経費節減策を丁寧に推し進めた結果、経常利益は294百万円、当期純利益は224百万円となりました。また、金融機関の健全性を示す指標である自己資本比率も8.38%と国内基準である4%を大きく上回っております。

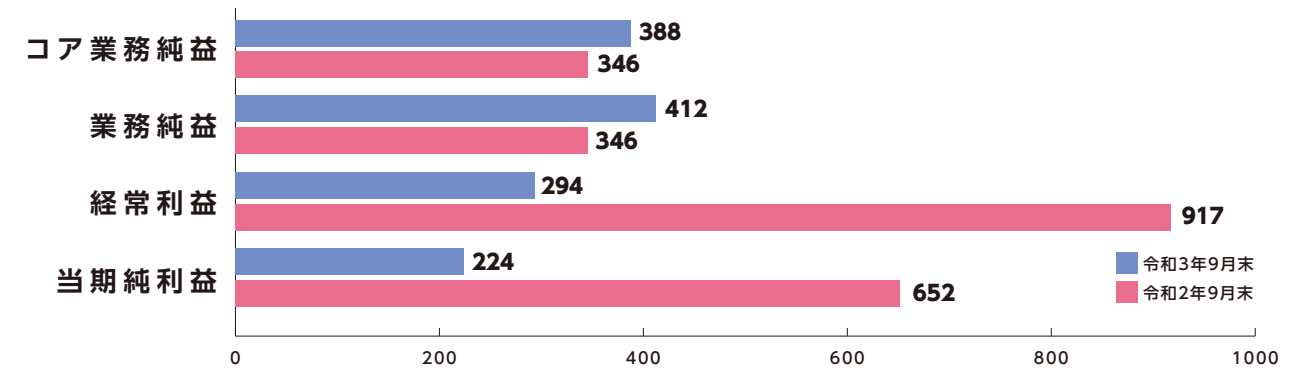
今後も地域における協同組合組織として経営基盤の健全性維持に努めるとともに、中小零細企業及び勤労者の資金円滑化、並びに組合員の経済的地位の向上に資することを目的とし、地域の皆様に真にお役に立てる金融機関を目指してまいりますので、一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

理事長 大原 清二

# 愛知商銀の経営情報

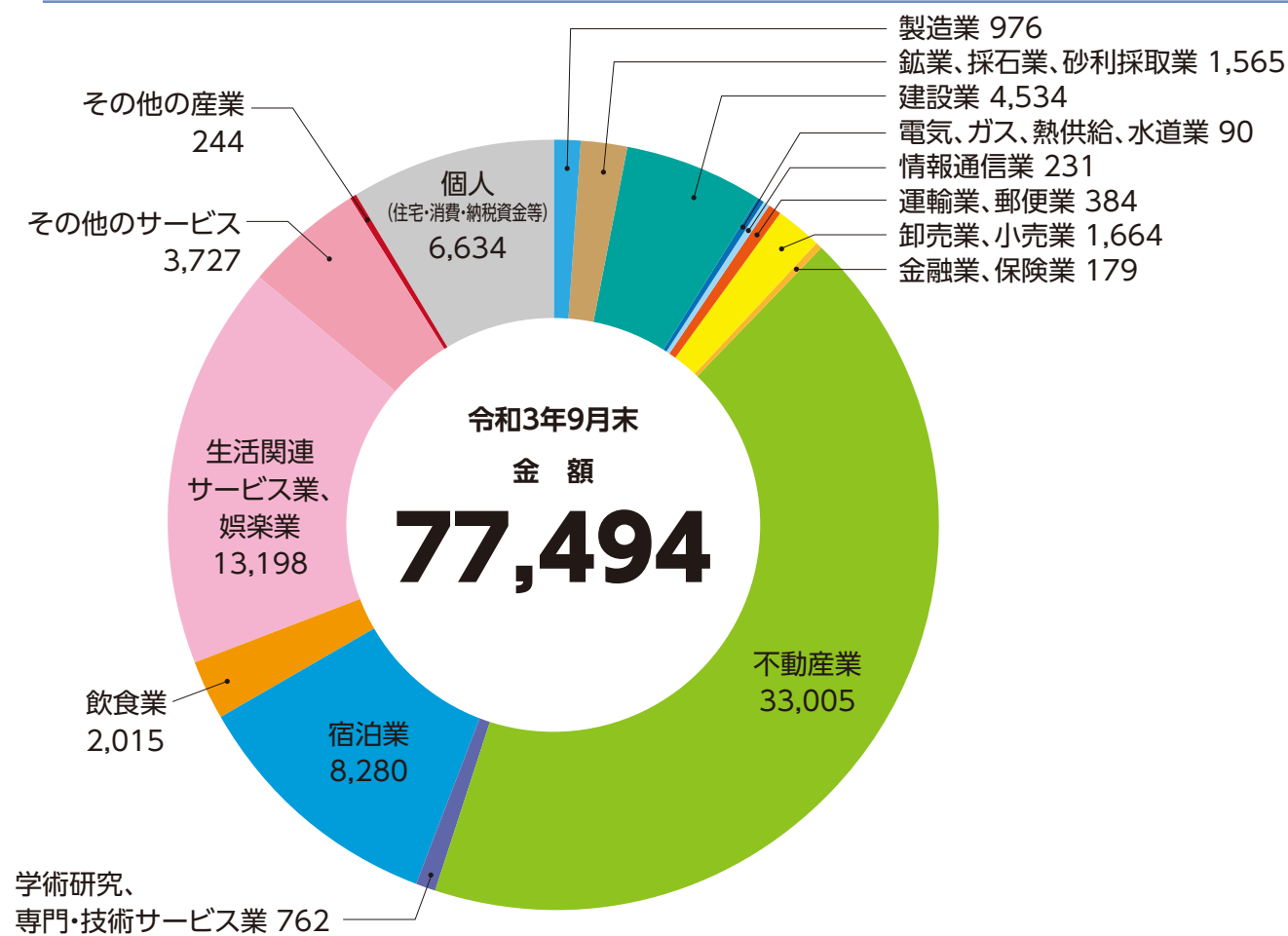
## 損益状況

(単位:百万円)



## 貸出金業種別残高

(単位:百万円)



## 貸借対照表

(単位:百万円)

(資産の部)		令和3年3月末	令和3年9月末	(負債の部)		令和3年3月末	令和3年9月末
現金	612	602	預金積金	108,276	110,361		
預け金	54,097	60,597	借入金	32,835	37,835		
有価証券	14,441	14,911	その他負債	667	702		
貸出金	76,920	77,494	賞与引当金	54	57		
その他資産	539	540	役員賞与引当金	13	—		
有形固定資産	3,006	3,009	役員退職慰労引当金	104	112		
無形固定資産	6	5	睡眠預金払戻引当金	0	0		
前払年金費用	220	174	再評価に係る繰延税金負債	51	51		
繰延税金資産	56	56	債務保証	385	384		
債務保証見返	385	384	負債の部合計	142,390	149,506		
貸倒引当金	△1,649	△1,689	(純資産の部)				
(うち個別貸倒引当金)	(△1,242)	(△1,306)	出資金	3,525	3,637		
資産の部合計	148,637	156,086	利益剰余金	2,970	3,159		
			利益準備金	1,411	1,571		
			その他利益剰余金	1,559	1,588		
			組合員勘定合計	6,496	6,797		
			その他有価証券評価差額金	△184	△152		
			土地再評価差額金	△64	△64		
			評価・換算差額等合計	△249	△217		
			純資産の部合計	6,246	6,580		
			負債及び純資産の部合計	148,637	156,086		

## 損益計算書

(単位:百万円)

	令和2年9月末	令和3年9月末	令和2年9月末	令和3年9月末
経常収益	1,688	1,228	法人税、住民税及び事業税	248
資金運用収益	1,151	1,185	法人税等調整額	18
役員取引等収益	25	34	法人税等合計	266
その他業務収益	1	7	当期純利益	652
その他経常収益	511	0	繰越金(当期首残高)	1,117
経常費用	771	934	当期末処分剰余金	1,769
資金調達費用	197	203		
役員取引等費用	18	18		
経費	554	672		
その他経常費用	0	40		
経常利益	917	294		
特別利益	2	—		
特別損失	2	0		
税引前当期純利益	918	294		

## 自己資本の充実状況

(単位:百万円)

コア資本に係る基礎項目(1)		
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る組合員勘定又は会員勘定の額		6,797
うち、出資金及び資本剰余金の額		3,637
うち、利益剰余金の額		3,159
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額		382
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額		382
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額		215
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額		△1
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)		7,394

コア資本に係る調整項目(2)		
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額		4
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額		4
繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額		1
前払年金費用の額		127
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)		133

自己資本		
自己資本の額((イ)-(ロ)) (ハ)		7,260

リスク・アセット等(3)		
信用リスク・アセットの額の合計額		82,866
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額		△12
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額		3,673
リスク・アセットの額の合計額 (ニ)		86,540

単体自己資本比率		
単体自己資本比率((ハ)/(ニ))		8.38%

## 金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額

(単位:百万円、%)

区分	債権額 (A)	担保・保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	保全額 (D)=(B)+(C)	保全率 (D)/(A)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	令和3年3月末	1,278	488	789	1,278
	令和3年9月末	1,313	473	840	1,313
危険債権	令和3年3月末	2,732	1,961	452	2,414
	令和3年9月末	2,727	1,950	466	2,417
要管理債権	令和3年3月末	37	21	0	22
	令和3年9月末	36	21	1	23
不良債権計	令和3年3月末	4,048	2,472	1,243	3,715
	令和3年9月末	4,078	2,445	1,308	3,754
正常債権	令和3年3月末	73,292			
	令和3年9月末	73,843			
	令和3年3月末	77,341			
合計	令和3年9月末	77,921			

